

鹿兒島県薩摩半島で採集されたイソカニダマシ属の8種

前之園唯史¹・大澤正幸²¹ 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5-102 株式会社かんきょう社² 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 島根大学エスチュアリー研究センター

Abstract

Eight species of the porcellanid genus *Petrolisthes*, viz. *P. boscii*, *P. coccineus*, *P. hastatus*, *P. haswelli*, *P. japonicus*, *P. pubescens*, *P. trilobatus* and *P. virgatus*, are reported on the basis of specimens collected from the Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, southern Japan. This study extends the distributional ranges of *P. hastatus*, *P. haswelli* and *P. trilobatus* to the north, south of Kyushu Island.

はじめに

イソカニダマシ属 *Petrolisthes* は、カニダマシ科 Porcellanidae のなかで最多の種を含む属である (Osawa and McLaughlin, 2010). 本属の種は温帯域から熱帯域に分布し、おもに潮間帯の岩やサンゴの隙間、転石の下などに生息している。

島嶼域を除く鹿児島県本土から記録があるイソカニダマシ属は、ショウジョウカニダマシ *P. boscii* (Audouin, 1826), オオアカハラ *P. coccineus* (Owen, 1839) [*P. nipponensis* Miyake, 1937として], イソカニダマシ *P. japonicus* (De Haan, 1849), *P. lamarckii* (Leach, 1821) [*P. speciosus* (Dana, 1852)として], *P. melini* Miyake and Nakasone, 1966, ケブカカニダマシ *P. pubescens* Stimpson, 1858 [*P. tomentosus* (Dana, 1852)として] およびナガウニカニダマシ *P. virgatus* Paulson, 1875 の7種であり (Stimpson, 1858; Ortmann, 1892; Balss, 1913; Miyake 1937, 1943; Osawa, 1998; 大澤, 2000), 県本土の近隣海域からはアジアアカハラ *P. asiaticus* (Leach, 1820) [天草] とヨコジマアカハラ *P. militaris* (Heller, 1862) [天草, 種子島] の記録もある (Yokoya,

1933; Miyake et al., 1962; 三宅ほか, 1978). なお, *P. melini* と *P. extremus* Kropp and Haig, 1994 の2種間には, 解決すべき分類学的課題が残されている (Osawa and Chan, 2010).

今回, 鹿児島県の薩摩半島の南端 (指宿市) で採集されたイソカニダマシ属の標本を精査した結果, 国内の分布が琉球列島に限られていた3種を含む8種が確認されたため, 採集標本に基づきここに報告する。

材料と方法

野外調査は, 鹿児島県指宿市の魚見港と開間花瀬海岸の2箇所で行った。各海岸における調査環境は潮間帯上部から下部にかけてで, 魚見港は防波堤の周辺に積まれた捨石の転石帯, 花瀬海岸は玄武岩の岩礁帯と玉石 (拳大から人頭大) が堆積した転石帯である。両方の海岸で確認された種であっても標本の採集は1箇所に留めた。

本研究で使用した標本は, 70% エタノールの液浸標本として琉球大学博物館, 風樹館 (RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan) に収蔵されている。標本の大きさは甲長 (cl: 額角の中央先端から甲の後縁中央までを計測) で表した。なお, 標本はすべて第一著者 (前之園) によって採集されたものであるため, 採集者の情報は省略した。

本研究では, 報告対象種との比較のために琉球列島産の *P. lamarckii* (Leach, 1821) と *P. shanyingi* Fang, Dong, Yang and Li, 2024 の標本を使用した。現在, 国内の文献では *P. lamarckii* に対して「ヒロバカニダマシ」という和名が使われているが,

Maenosono, T. and M. Osawa. 2025. Report on eight species of the genus *Petrolisthes* collected from the Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 263–268.

☑ TM: Kankyosha, 1-4-5-102 Kyozuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan (e-mail: maenosono@kankyo-sha.co.jp).

Received: 7 March 2025; published online: 9 March 2025; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-056.pdf

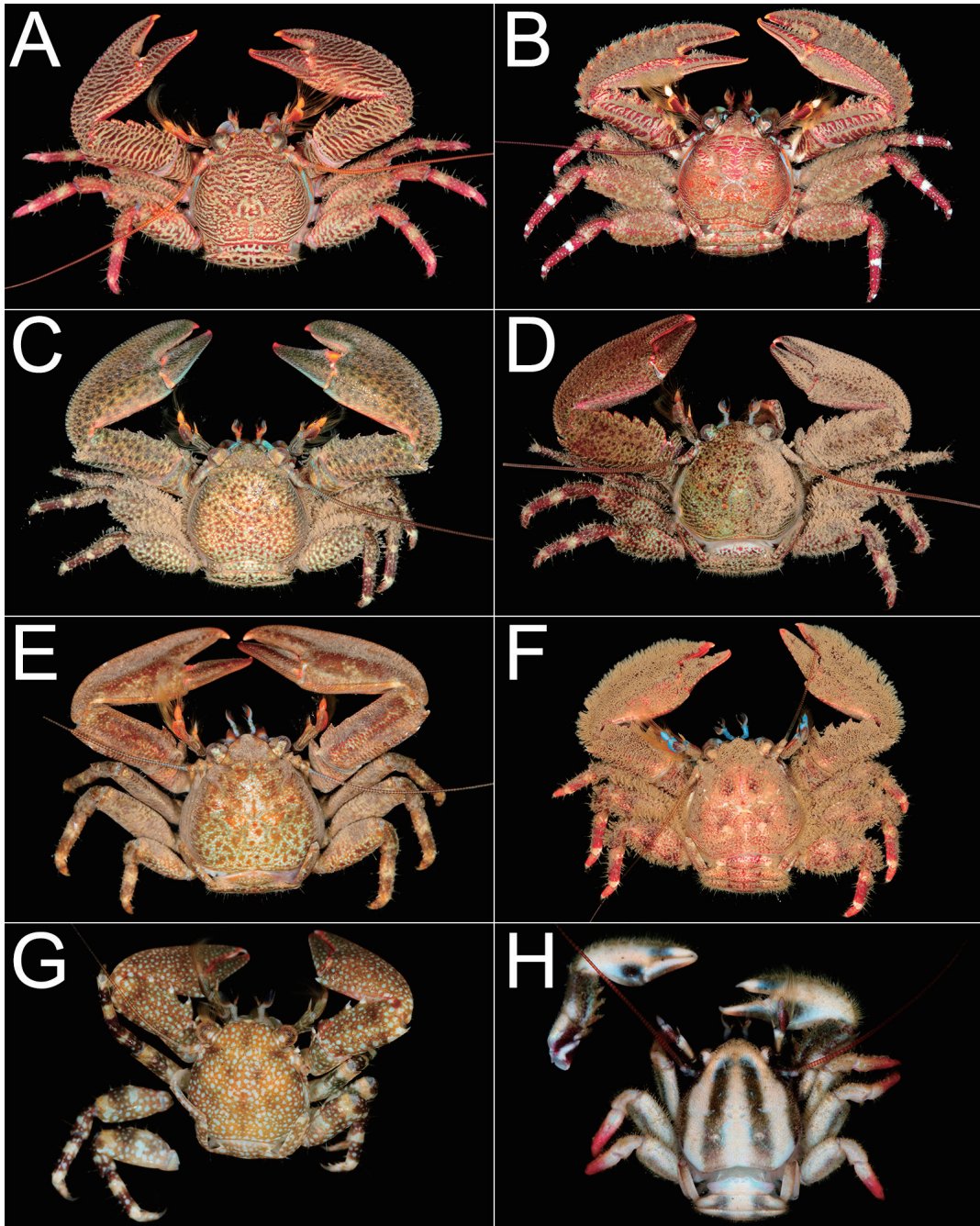


Fig. 1. *Petrolisthes* species collected from the Satsuma Peninsula. A, *Petrolisthes boscii* (Audouin, 1826), RUMF-ZC-7834, female, cl 7.9 mm; B, *Petrolisthes coccineus* (Owen, 1839), RUMF-ZC-7835, female, cl 9.0 mm; C, *Petrolisthes hastatus* Stimpson, 1858, RUMF-ZC-7836, male, cl 8.4 mm; D, *Petrolisthes haswelli* Miers, 1884, RUMF-ZC-7838, male, cl 9.2 mm; E, *Petrolisthes japonicus* (De Haan, 1849), RUMF-ZC-7843, male, cl 8.7 mm; F, *Petrolisthes pubescens* Stimpson, 1858, RUMF-ZC-7844, male, cl 8.1 mm; G, *Petrolisthes trilobatus* Osawa, 1996, RUMF-ZC-7845, male, cl 3.6 mm; H, *Petrolisthes virgatus* Paul'son, 1875, RUMF-ZC-7847, female, cl 4.4 mm. Entire animal, dorsal view.

この和名で呼ばれている種の正体（どの学名に対応するのか）については、Fang et al. (2023, 2024) の研究成果を踏まえた慎重な検討が必要である。

しかし、この検討は本研究の目的を超えるものであるため、本報告では「ヒロバカニダマシ」という和名を使用していない。

Petrolisthes boscii (Audouin, 1826)

ショウジョウカニダマシ (Fig. 1A)

検討標本 RUMF-ZC-7834, 2雌 (cl 7.9, 7.9 mm), 指宿市魚見港, 2024年12月31日.

生息環境と確認状況 両海岸ともに潮間帯下部の転石下で確認された. 魚見港では多数の個体を確認したが, 花瀬海岸では2個体のみであった.

分布 ペルシャ湾・紅海からフィジーにかけて広く分布する (Haig, 1992). 日本沿岸では相模湾以南に分布するが (三宅, 1978), 小笠原諸島や琉球列島からの記録はない.

Petrolisthes coccineus (Owen, 1839)

オオアカハラ (Fig. 1B)

検討標本 RUMF-ZC-7835, 1雌 (cl 9.0 mm), 指宿市魚見港, 2024年12月31日.

生息環境と確認状況 両海岸ともに潮間帯下部の転石下で少数個体が確認された.

分布 アフリカ東岸からハワイ諸島, ツアモツ諸島にかけて広く分布し, 日本沿岸では房総半島以南 (小笠原諸島・琉球列島含む) に分布する (大澤, 2022).

Petrolisthes hastatus Stimpson, 1858

ミナミカニダマシ (Fig. 1C)

検討標本 RUMF-ZC-7836, 1雄 (cl 8.4 mm), 1雌 (cl 10.0 mm), 指宿市魚見港, 2024年12月31日.

生息環境と確認状況 両海岸ともに潮間帯上部の転石下で多くの個体が確認された.

分布 シンガポール・インドネシアからバヌアツまでの熱帯・亜熱帯域に分布する (Werdinger and Hiller, 2015). 日本国内での従来の分布の北限記録はトカラ列島の宝島であったが (Miyake, 1956), 本報告によって鹿児島県指宿市まで更新された.

Petrolisthes haswelli Miers, 1884

オオヒロバカニダマシ (Figs. 1D, 2A)

検討標本 RUMF-ZC-7837, 2雄 (cl 12.2, 13.3 mm), 指宿市魚見港, 2013年12月27日; RUMF-ZC-7838, 1雄 (cl 9.2 mm), 1雌 (cl 8.2 mm), 指宿市魚見港, 2021年12月30日.

参考標本 RUMF-ZC-7839, 1雄 (cl 15.6 mm), 1雌 (cl 14.3 mm), 沖縄島浦添市伊奈武瀬, 2010年3月27日; RUMF-ZC-7840, 3抱卵雌 (cl 6.8, 8.8, 10.5 mm), 沖縄島八重瀬町ギーザバンタ, 2009年8月26日.

比較標本 *Petrolisthes lamarckii* (Leach, 1821): RUMF-ZC-7841, 1雄 (cl 13.4 mm), 1雌 (cl 8.9 mm), 沖縄島本部町崎本部, 2023年12月27日; RUMF-ZC-7842, 3雄 (cl 10.8, 12.7, 13.5 mm), 伊良部島長山港近く, 2010年7月22日.

生息環境と確認状況 魚見港でのみ確認された. 防波堤の下部が崩れてできた横穴の中および穴の入口付近に限定して生息していた.

分布 浙江省以南の中国大陸沿岸, 琉球列島, 台湾, モルッカ諸島, オーストラリア, ロイヤルティ諸島に分布する (Osawa and Chan, 2010; Fang et al., 2023). 日本沿岸における本種の記録は, 標本に基づくものは西表島のみであるが (Miers, 1884; 藤田, 2005; Osawa, 2007), 沖縄島, 宮古島および八重山諸島黒島でも生息が確認されている [藤田, 2005; Osawa and Maenosono, 2011 (備考参照)]. 本報告は本種の鹿児島県および九州初記録であり, 分布の北限記録は浙江省温州市霞関鎮から指宿市まで更新された.

備考 Osawa and Maenosono (2011) は, アオヘリカニダマシ *P. cyanochir* Osawa and Maenosono, 2011 の採集地 (沖縄島と伊良部島) で本種が確認されたことを報告したが, どちらの島で混棲していたのか具体的に示していない. これら2種が混棲していたのは沖縄島であり, 参考標本の RUMF-ZC-7839 はその時の採集標本である.

本種と *P. lamarckii* は, 甲, 鉗脚および歩脚の形状, ならびにそれらの部位が有する歯や棘の数と配置が共通しており, 体サイズや体色も似ている. 生時または新鮮な標本であれば, 鉗部の背面, 前縁に沿って並ぶオレンジ色の点状斑の有無 [本種: 無し (Fig. 1D), *P. lamarckii*: 有り (Fig. 2C)]

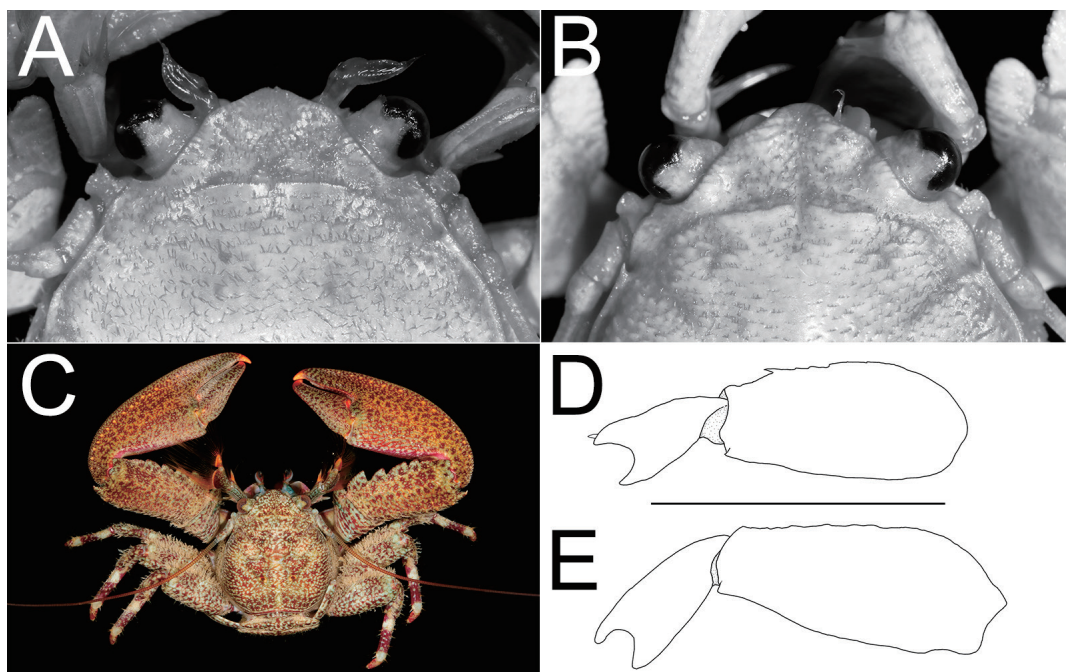


Fig. 2. *Petrolisthes* species collected from the Satsuma Peninsula (A, D) and Okinawa Island (B, C, E). A, *Petrolisthes haswelli* Miers, 1884, RUMF-ZC-7838, male, cl 9.2 mm; B, C, *Petrolisthes lamarckii* (Leach, 1821), RUMF-ZC-7841, male, cl 13.4 mm; D, *Petrolisthes trilobatus* Osawa, 1996, RUMF-ZC-7845, male, cl 3.6 mm; E, *Petrolisthes shanyingi* Fang, Dong, Yang and Li, 2024, RUMF-ZC-7846, male, cl 7.5 mm. A, B, anterior part of carapace, dorsal view; C, entire animal, dorsal view; D, E, left second pereopod, merus and carpus, lateral view (ridges and setae not illustrated). Scale: D = 2.5 mm; E = 5 mm.

によってこれら2種は容易に識別できる。一方、退色した標本では、*P. lamarckii* (Fig. 2B) よりも本種 (Fig. 2A) の方が甲や鉗脚の背面が毛深いことによって識別できるが、比較標本がない場合、この判断は非常に難しい。

Petrolisthes japonicus (De Haan, 1849)

イソカニダマシ (Fig. 1E)

検討標本 RUMF-ZC-7843, 1雄 (cl 8.7 mm), 1雌 (cl 7.2 mm), 指宿市魚見港, 2024年12月31日。

生息環境と確認状況 両海岸ともに潮間帯上部の転石下で多くの個体が確認された。

分布 日本, 台湾, 韓国および中国沿岸 (浙江省から広西チワン族自治区) に分布し, 日本沿岸では青森県西岸および房総半島以南 (小笠原諸島・琉球列島含む) に分布する (大澤, 2022)。

Petrolisthes pubescens Stimpson, 1858

ケブカカニダマシ (Fig. 1F)

検討標本 RUMF-ZC-7844, 1雄 (cl 8.1 mm), 指宿市魚見港, 2024年12月31日。

生息環境と確認状況 両海岸ともに潮間帯下部の転石下で多くの個体が確認された。

分布 モーリシャスからマルキーズ諸島まで広く分布する (Osawa and Chan, 2010)。日本沿岸では房総半島以南, 伊豆諸島八丈島や琉球列島まで分布し (大澤, 2000; 加藤・奥野, 2001), 小笠原諸島からは今島 (1970) の海産生物リスト中に“ケブカカニダマシ *P. tomentosus* (Dana)”と記されているが, 当時は本種 (*P. pubescens*) とフサゲカニダマシ *P. tomentosus* の分類が混乱していたため, 今島 (1970) の種がどちらであるのかわからない。なお, 本稿の第二著者 (大澤) は小笠原諸島父島に本種が生息していることを確認している (未公表データ)。

Petrolisthes trilobatus Osawa, 1996

アラナミヒロバカニダマシ (新称) (Figs. 1G, 2D)

検討標本 RUMF-ZC-7845, 1 雄 (cl 3.6 mm), 指宿市開聞花瀬海岸, 2025 年 1 月 1 日.

比較標本 *Petrolisthes shanyingi* Fang, Dong, Yang and Li, 2024: RUMF-ZC-7846, 2 雄 (cl 6.7, 7.5 mm), 沖縄島本部町崎本部, 2023 年 12 月 27 日.

生息環境と確認状況 花瀬海岸で 1 個体のみ確認された. 波が直接当たる岩礁帯の外縁, 潮間帯下部の岩盤の隙間に生息していた.

分布 沖縄島以南の琉球列島, 中国沿岸 (広西チワン族自治区, 海南島), タイ, インドネシアおよびニューカレドニアに分布する (Osawa, 1996; Yang and Sun, 2005). 本報告は本種の鹿児島県および九州初記録であり, 分布の北限記録は沖縄島から指宿市まで更新された.

備考 本種は体サイズや体色などが *P. shanyingi* に似ているが, 第 1–3 歩脚 (第 2–4 胸脚) の棘の有無によって容易に識別できる. 本種は第 1–3 歩脚の長節の前縁および第 1 歩脚の腕節の上縁末端にそれぞれ 1 本の棘を持つものに対して (Fig. 2D; Osawa, 1996: fig. 3A–C) (ただし, ごく稀に長節前縁の棘を欠く場合もある), *P. shanyingi* ではこれらの部位に棘を持たない (Fig. 2E; Fang et al., 2023: fig. 9C–E). また, 筆者らの採集経験では, 本種は第 1–3 歩脚の長節の背側面, 末端付近に淡色の横帯 (または斑紋) を持つ個体が多いが (Fig. 1G), *P. shanyingi* ではこの淡色斑を欠く個体が多い (Fang et al., 2023: fig. 7F).

三宅 (1982: pl. 51, fig. 2) において“ヒロバカニダマシ *P. lamarckii*”とされている写真の個体は, 本種であると推察されている (Osawa, 1996).

和名 本種はサンゴ礁海岸の礁縁付近に生息していることが多く (Osawa, 1996; 大澤, 2008), 本研究の検討標本も波が直接当たる岩礁帯の外縁で採集された. この生息環境の特徴にちなみ, 本種の和名に「アラナミヒロバカニダマシ」を提唱する. なお, 和名の基準となる標本には, 国立科学博物館に収蔵されている本種のアラタイプ (NSMT-Cr 11711, 雄, cl 6.5 mm) を指定する.

Petrolisthes virgatus Paul'son, 1875

ナガウニカニダマシ (Fig. 1H)

検討標本 RUMF-ZC-7847, 1 雌 (cl 4.4 mm), 指宿市開聞花瀬海岸, 2025 年 1 月 1 日.

生息環境と確認状況 花瀬海岸で 1 個体のみ確認された. 潮間帯下部の転石を起こした際にムラサキウニ *Heliocidaris crassispina* (A. Agassiz, 1864) とともに確認された.

分布 アフリカ東岸から日本にかけて広く分布し (Ebrahimnezhad and Naderloo, 2016), 日本沿岸では房総半島以南 (小笠原諸島・琉球列島含む) に分布する (大澤, 2000).

備考 Nakasone and Miyake (1972) は, Ooishi (1970: pl. 12, fig. 3) が“*P. virgatus*”として掲載した写真の個体はオオアカハラであると判断した. しかしながら, 当該個体の甲や胸脚の斑紋パターンから判断すると, この個体は *P. carinipes* (Heller, 1861) である可能性が高い [*P. carinipes* の体色は Osawa and Chan (2010: figs. 89, 90) 参照].

謝辞

標本の収蔵の際にご協力いただいた成瀬 貫氏 (琉球大学熱帯生物圏研究センター) にお礼を申し上げます.

引用文献

- Balss, H., 1913. Ostasiatische Decapoden I. Die Galatheiden und Paguriden. In: F. Doflein, (ed.), Beiträge zur Naturgeschichte Ostasiens. Abhandlungen der Mathematisch-Physikalischen Klasse der Königlich Bayerischen Akademie der Wissenschaften 2, Supplement 9: 1–85, pls. I–II.
- Ebrahimnezhad, S. and R. Naderloo, 2016. First record of *Petrolisthes virgatus* Paul'son, 1875 (Crustacea, Decapoda, Anomura, Porcellanidae) from the Persian Gulf and Gulf of Oman, Iran. *Nauplius* 24: e2016027.
- Fang, X., D. Dong, M. Yang and X. Li, 2023. Phylogenetics and population genetics of the *Petrolisthes lamarckii*–*P. haswelli* complex in China: old lineage and new species. *International Journal of Molecular Sciences* 24: 15843.
- Fang, X., D. Dong, M. Yang and X. Li, 2024. Validation of the porcelain crab *Petrolisthes shanyingi* Fang, Dong, Yang & Li (Decapoda: Anomura: Porcellanidae) from the northern South China Sea. *Zootaxa* 5458 (1): 147–148.
- 藤田喜久, 2005. オオヒロバカニダマシ (新称). 沖縄県文化環境部自然保護課 (編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (動物編)—レッドデータおきなわ—, p. 217, 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇.

- Haig, J. 1992. Hong Kong's porcellanid crabs. In: B. Morton (ed.), The Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China III. Proceedings of the Fourth International Marine Biological Workshop: The Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China, Hong Kong, 11–29 April 1989. pp. 303–327, Hong Kong University Press, Hong Kong.
- 今島 実, 1970. 6 海中生物. 津山 尚・浅海重夫 (編), 小笠原の自然・解説編. pp. 179–196, pls. 6 (1–8), 廣川書店, 東京.
- 加藤昌一・奥野淳兒, 2001. エビ・カニガイドブックー伊豆諸島・八丈島の世界からー. TBS プリタニカ, 東京.
- Miers, E. J., 1884. Crustacea. In: Report on the Zoological Collections made in the Indo-Pacific Ocean during the Voyage of H. M. S. 'Alert' 1881–2. Part I. The Collections from Melanesia. British Museum (Natural History), London, 178–322, pls. XVIII–XXXIV.
- Miyake, S., 1937. Porcellanids from Tanabe Bay. *Annotationes Zoologicae Japonenses* 16 (3): 210–217.
- Miyake, S., 1943. Studies on the crab-shaped Anomura of Nippon and adjacent waters. *Journal of the Department of Agriculture, Kyushu Imperial University* 7 (3): 49–158.
- Miyake, S., 1956. Invertebrate fauna of the intertidal zone of the Tokara Islands. XIII. Anomura. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory* 5 (3): 303–337.
- 三宅貞祥, 1978. 相模湾産甲殻異尾類. 皇居内生物学御研究所, 東京.
- 三宅貞祥, 1982. 原色日本大型甲殻類図鑑 (I). 保育社, 大阪.
- 三宅貞祥・酒井勝司・馬場敬次・仲宗根幸男, 1978. (II) Suborder Anomura 異尾亜目. 菊池泰二・三宅貞祥 (編), 天草臨海実験所近海の生物相十脚甲殻類 (増補改訂版). pp. 27–31, 九州大学理学部天草臨海実験所, 苓北.
- Miyake, S., K. Sakai and S. Nishikawa, 1962. A fauna-list of the decapod Crustacea from the coasts washed by the Tsushima Warm Current. *Records of Oceanographic Works in Japan, Special Number* 6: 121–131.
- Nakasono, Y. and S. Miyake, 1972. Four unrecorded porcellanid crabs (Anomura: Porcellanidae) from Japan. *Bulletin of Science and Engineering Division, University of Ryukyus. (Mathematics and Natural Sciences)* 15: 136–147.
- Ooishi, S., 1970. Marine invertebrate fauna of the Ogasawara and Volcano Islands collected by S. Ooishi, Y. Tomida, K. Izawa and S. Manabe. In: Report on the Marine Biological Expedition to the Ogasawara (Bonin) Islands, 1968. pp. 75–104, pls. I–XXV, Toba Aquarium, Toba, and Asahi Shinbun.
- Ortmann, A. E., 1892. Die Decapoden-Krebse des Strassburger Museums, mit besonderer Berücksichtigung der von Herrn Dr. Döderlein bei Japan und bei den Liu-Kiu-Inseln gesammelten und zur Zeit im Strassburger Museum aufbewahrten Formen. IV. Theil. Die Abtheilungen Galatheaidea und Paguridea. *Zoologische Jahrbücher. Abtheilung für Systematik, Geographie und Biologie der Thiere* 6: 241–326, pls. 11–12.
- Osawa, M., 1996. Two new species of the genus *Petrolisthes* (Decapoda: Anomura: Porcellanidae) from the Indo-West Pacific. *Journal of Crustacean Biology* 16 (3): 602–612.
- Osawa, M., 1998. *Novorostrum*, new genus (Decapoda: Anomura: Porcellanidae), with descriptions of three related species. *Journal of Crustacean Biology* 18 (1): 161–176.
- 大澤正幸, 2000. ④ガラテア類. 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌 本編 7 千葉県の動物 2 海の動物 県史シリーズ 46. pp. 349–354, 千葉県史料研究財団, 千葉.
- Osawa, M., 2007. Porcellanidae (Crustacea: Decapoda: Anomura) from New Caledonia and the Loyalty Islands. *Zootaxa* 1548: 1–49.
- 大澤正幸, 2008. インド-西太平洋域のカニダマシ科の分類, 分布に関する研究の現状. タクサ: 日本動物分類学会誌 25: 13–23.
- 大澤正幸, 2022. 山陰 (島根県・鳥取県) の異尾甲殻類, 日本海西部沿岸のヤドカリ類とその仲間たち. 齋藤文紀・入月俊明・堀之内正博・倉田健悟・香月興太・川井田俊 (編), エスチュアリー研究センター・汽水域研究会合同出版物, エスチュアリー研究センター特別出版物第 1 号・Laguna (汽水域研究) 特別出版物第 1 号. 島根大学研究・学術情報本部エスチュアリー研究センター, 松江.
- Osawa, M. and T.-Y. Chan, 2010. Part III. Porcellanidae (porcelain crabs). In: T.-Y. Chan (ed.), *Crustacean Fauna of Taiwan: Crab-like Anomurans (Hippoidea, Lithoidea and Porcellanidae)*. pp. 67–181, National Taiwan Ocean University, Keelung.
- Osawa, M. and T. Maenosono, 2011. Two species of the genus *Petrolisthes* (Decapoda: Anomura: Porcellanidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, with description of a new species. In: T. Komai and H. Komatsu (eds.), *New Crustaceans of Japan: Part 2. Bulletin of the National Museum of Nature and Science. Series A, Zoology, Supplement* 5: 109–118.
- Osawa, M. and P. A. McLaughlin, 2010. Annotated checklist of anomuran decapod crustaceans of the world (exclusive of the Kiwaoidea and families Chirostylidae and Galatheaidea) Part II—Porcellanidae. In: M. E. Y. Low and S. H. Tan (eds.), *Checklists of Anomuran Decapod Crustaceans of the World (exclusive of the Kiwaoidea and families Chirostylidae and Galatheaidea of the Galatheaidea) and Marine Lobsters of the World. The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement* 23: 109–129.
- Stimpson, W., 1858. Prodrum descriptionis animalium evertibratorum quae in Expeditione ad Oceanum Pacificum Septentrionalem, a Republica Federata missa, Cadwaladaro Ringgold et Johanne Rodgers Ducibus, observavit et descripsit. Pars. VII. Crustacea Amomura. I. Teleosomi. *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia* 10: 225–252.
- Werding, B. and A. Hiller, 2015. Description of a new species of *Petrolisthes* in the Indo-West Pacific with a redefinition of *P. hastatus* Stimpson, 1858 and resurrection of *P. inermis* (Heller, 1862) (Crustacea, Anomura, Porcellanidae). *ZooKeys* 516: 95–108.
- Yang, S. and X. Sun, 2005. The Porcellanidae (Crustacea: Anomura) of Hainan Island, China with description of a new species. *Natural Sciences and Museums* 1: 1–30.
- Yokoya, Y., 1933. On the distribution of decapod crustaceans inhabiting the continental shelf around Japan, chiefly based upon the materials collected by S.S. Sōyō-Maru, during the year 1923–1930. *Journal of the College of Agriculture, Tokyo Imperial University* 12 (1): 1–226.